

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 63

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		観光施設維持管理事業				
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	商工観光係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	齋藤康志
事業の概要	日の出岬キャンプ場は、雄大なオホーツク海が眺望できることから多くの観光客が訪れる施設であり、当町の重要な観光スポットとなっている。そのため、利用者に快適な利用環境を提供するため、施設の良好な維持管理を行うものである。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 29,785 千円 事業費計 29,785 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
	基本施策	5 観光の振興				
	単位施策	2 雄武観光の魅力化				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	8,358 千円	5,435 千円	5,500 千円	4,740 千円	4,740 千円
	合計	8,358 千円	5,435 千円	5,500 千円	4,740 千円	4,740 千円

152

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	観光客等のキャンプ場利用者	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	老朽化による修繕箇所の増加	キャンプ場利用者数			
		指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	計画的な改築・修繕によるサービス機能の向上、定期的な清掃による美観の維持	維持管理施設数	目標年度	平成21年度	
			目標値	6 施設	
			実績値	6 施設	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	観光客(特にリピーター)の増加	キャンプ場利用者数	目標年度	平成21年度	
			目標値	10,000 人	
			実績値	10,549 人	
			達成度	105.49 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
維持管理・清掃業務の委託	日の出岬キャンプ場及び周辺施設の維持管理・清掃業務委託				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	夏期においてはキャンプ客等による利用、冬期間においては流水観光客の利用がなされ、通年通しての維持管理が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	天候等の外的要因に左右されやすい施設であることから、利用者数は昨年を若干下回ったが、依然として多くの人が訪れており、当町の観光拠点として役割は果たしている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	本施設の維持管理業務に精通している業者へ発注することにより、あらゆる面での維持管理コストを抑制でき効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

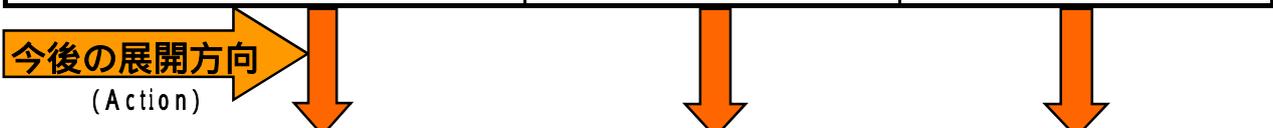
(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	施設管理業務に精通した事業者による指名競争入札を経て発注を行っており、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
道の駅と並ぶ当町の代表的観光スポットとして多くの観光客が訪れる場所であることから、適切な施設維持のため、計画通りに事業を進める必要である。		



継続 / 現状維持		
従来の維持管理業務に加え、施設の老朽化に伴う計画的な整備と、通年で利用できる環境を整えるための追加投資が必要と考える。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)